

第15回論述試験 得点：50点の再現答案

問1 指定語句：共感、思い込み、問題解決、経験、自己探索

事例1では CL10「不安になっている」という気持ちに共感する事なく CCt10「そういうことも影響しているかもしれませんね」と CLの経歴から CCの思い込みによる応答や CCt11「そのようなお仕事に移ることは考えられますか」と転職について問題解決を急ぐ質問で CLの考えが深まらない展開となっている。一方事例IIでは CL1「自信がなくなって」CL7「うまくいかなかったり」と思う背景について質問することで CL8で2週間前の経験を語り、CL10「さらに動転して」「情けない」という感情を引き出している。更に CCt11の問いかけにより「なんでしょうね…」と自己探索を促し仕事についての考え方に気づく展開になっている。

文章の書き方のポイント！

CL12「○○○」との発言から、○○○であるため、相談者は○○である。

緑色（抜取文やその要約） 対応した言葉→実例に沿った言葉。検証にする言葉。根拠の元。

赤色の文字 解答者の考え。そう思ったもの。見立て、推論、考え方、方策。

黄色客観的なもの、結論めいたもの。結果的なもの。答え的なもの。

水色 テクニカルなもの、定型文、便利なもの、仕えるもの。

問2

事例1 相応しくない

理由：CL10の「不安になってしまいます」という気持ちに寄り添う事なく、CLの経歴から CCの主観で決めつけるかの様な対応となり、CL11「でも…」と共感を得られないままとなっている為。

事例2 相応しい

理由：CL6「利用者さんに寄り添って介護をすることの大切さ」についての語りと CL11「プロセスの一部」として考えてしまっていた」ことを対比させることで CL「何でしょうね…」と自己探索に繋がる応答である為。

問3

前職で培ってきた仕事を段取り良くこなす意識が先に働く自分を感じながらも、その事を情けないと否定的に捉え、自己理解が不足している点。 CL12「時間をきっちり管理できること」が仕事ができることだと思ひ込み、今の仕事についての理解が不足している点。利用者の方やフロアリーダーの言葉の背景について確認することなく、動揺しておりコミュニケーションが不足している点。

問4

CL12「時間をきっちり管理できること」で仕事が出来たと思える経験について問いかけ確りと傾聴を続けていくことで自分の強みについての理解を深めてもらう。利用者の方のフロアリーダーの言動についての意図について質問しコミュニケーションに不足がなかったや今後の関わりかたについて考えを深めてもらう。また今の仕事で活かせる経験や不足している点について問いかけることで、得られる支援や仕事についての理解をサポートする。介護職として今後のキャリアプランについて生き活きと中長期に描いていける様に支援していく。

解答ポイント

シンプルな解答で一読して、非常にわかりやすい。～である調の記述。

記述の型。統一性がある記述のため採点者が読みやすい。

実際の問題文からの引用、要約、言葉の切り抜きから、具体性があり根拠出しがしっかりできている。

テンプレート的な解答ではなく、事例に沿った、答案構成となっている。